しまなみ農業だより

ニンニク栽培について
1.栽培品種
2.栽培スケジュール
3.栽培管理

ニンニクはユリ科の植物で原産地は中央アジアといわれ、生育適温は15℃から20℃と冷涼な気温を好みます。アリシンという物質が特有の臭いのもとですが、香辛料や活力増強・疲労回復に利用されます。今回は、ニンニク栽培について解説します。

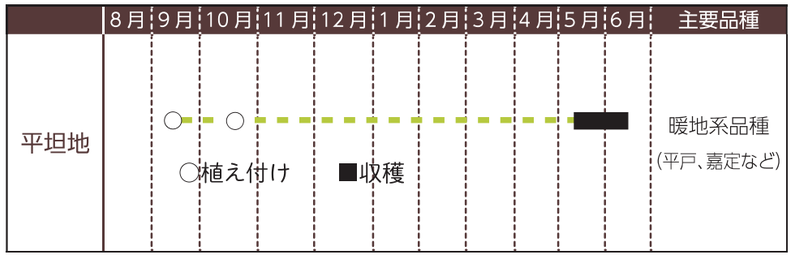
1 栽培品種

ニンニクの品種には、寒地用と暖地用があり、寒地用品種を温かい地域で栽培すると、大きく育たなかったり収穫が遅れることがあります。地域に適した品種利用が重要です。

2 栽培スケジュール

植え付け時期は、9月下旬～10月中旬ころが適期で、早すぎても遅すぎても生育のリスクを生じます。早すぎると病気になりやすく、遅れると大きい球になりません。地温が20℃を目安に植え付け、収穫は、5月下旬～6月中旬ころとなります（**表1**）。

表1　ニンニクの作型



3 栽培管理

1 施肥

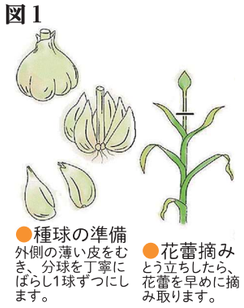
完熟堆肥を1㎡あたり2kg施用し、保水力を高め乾燥を防ぎます。定植の1週間前に苦土石灰を1㎡あたり100g均一にすき込みます。数日後、化成肥料を1㎡あたり100gすき込み、幅1m程度の畦に整地します。雑草防止と乾燥防止のためポリマルチ（タマネギ用穴あきマルチ等）の利用も有効です。また、追肥は12月、2月、3月に少量行います。

2 植え付け

植え付けは、鱗茎をばらして基部を下に向けて、5㎝の深さに押し込みます（**図1参照**）。

植え付け間隔は、株間20㎝、条間25㎝とします。深め（深さ25㎝以上）のプランターでも栽培ができますので、挑戦してみましょう。

図1



3 管理

ニンニクは、乾燥には強いですが過湿には弱い植物です。植え付け後、乾燥が続くようなら少し潅水をする程度で水のやりすぎには注意しましょう。発芽後、1株から2芽出た場合は、生育の良い芽を1本残して摘み取ります。4月～5月ころに葉の中心部からトウ（花の咲く茎）が出てきます。30㎝程度伸びた時に基部から切り取ります（**図1参照**）。切り取ったものはニンニク芽として食べられます。茎を摘まないと肥大が抑制されるので、必ず行ってください。早すぎると、玉割れ（鱗片が肥大して分離）することがあります。

4 収穫

収穫の目安は株全体の葉が30～50％黄変したころです。適期を過ぎると球割れが発生して色つやも悪くなるので、適期収穫に努めましょう。収穫後は、茎と根を切り取り、腐敗防止のため3日～4日程度の天日乾燥し風通しのよいところで保存してください。

火災・救急・救助は 119 消防だより

令和3年度全国統一防火標語
「おうち時間　家族で点検　火の始末」

愛媛県防災士養成講座の開催について

防災士とは、防災に対する意識、知識、技能を兼ね備えた人に認証される資格です。受講を希望される方は、消防本部消防防災課までご連絡ください。なお、資格取得には、資格試験の合格と普通救命講習の受講が必要となります。

○**開催日時**
12月11日（土）9時00分～16時50分
12月12日（日）9時00分～17時40分
※2日間とも受講が必要です。
○**開催場所**
今治市総合福祉センター
今治市南宝来町1―9―8
※現地まで送迎可能です。
○**対象者**　上島町在住の方
○**募集期限**　10月22日（金）
○**費　用**　受講料の助成有り
○**問い合わせ**　消防本部 消防防災課

新人職員紹介

愛媛県消防学校での6ケ月間の初任科教育研修を修了し、10月より消防署に着任した新人職員1名を紹介します。

原田（はらだ）　祐依（ゆい）（19歳）
山口県岩国市出身

抱負・心境

半年間の厳しい学校生活を修了し、10月から上島町消防本部で勤務をしています。上島町の皆さまの安心・安全な暮らしを支え、信頼される消防職員になりたいと思っています。そのためにも日々知識や技術を身に付けて頑張っていきますので、よろしくお願いします。

救助資機材取扱い訓練

救急資機材取扱い訓練

防火衣着装訓練

令和3年8月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R3累計
火災	0	0	0	0	0	0	1
救急	17	7	14	0	0	38	274

（令和3年8月31日現在）

上島町消防署・消防本部　☎77-4118